

## 平成29年度動物愛護週間ポスターのデザイン絵画コンクール受賞作品

○最優秀作品（環境大臣賞）今年度動物愛護週間ポスターに使用



佐々木 美波 さん（岩手県在住）

### ◆作品に関するコメント

私の住んでいる宮古でも、地震、津波と、災害を受けました。私は犬を飼っているのですが、避難所に連れていくことができず、ずっと心配していた記憶があります。もし、これから災害が起こることがあったら、ペットも一緒に避難できるように、ペットに避難するときのためのしつけをしっかりとしてほしいという思いで描きました。

○優秀作品（動物愛護週間中央行事実行委員会委員長賞）※50音順



菊地 里美さん（大阪府在住）

◆作品に関するコメント

災害の時みんな不安で余裕もなくなります。避難所にペットを連れて避難してくる人達もいます。飼い主さんがちゃんとルールを守って周りの人に自分のペットの事を書いてお知らせをすれば、少しは理解してもらえてお互いに嫌な思いをへらせる事が出来ると思いました。



高木 千恵さん（千葉県在住）

◆作品に関するコメント

震災時、崩れかけた山を背に、外でつなぎっ放しにされ家に残されたままの飼い犬を見ました。当然、そこに家族は居ません。私は、遠吠えをするその飼い犬が目に見え、数年経った今も忘れることができません。ペットは家族を誰よりも愛し、信じています。人は、それをどんな時も忘れてはならないと思い、多くの人に気付いて欲しくて、こちらの企画に応募させていただきました。



高吉 逞花さん（鹿児島県在住）

◆作品に関するコメント

私の家では、犬のイチゴくんとインコのペンペンの避難用具を自分達の避難用具と一緒に準備しています。もし災害がおきた時は、ペットも大事な家族だから一緒に避難してもらいたくてこの絵を書きました。



西村 加奈子さん（埼玉県在住）

◆作品に関するコメント

災害のとき、動物たちも自分で避難してくれたらいいですね。でも、そんなわけはありません。日頃から、我々人間がやっておくことがあります。



野崎 正博さん（鹿児島県在住）

◆作品に関するコメント

ペットを飼っている家族は防災を考える時に、ペットのこともしっかり考えることが大切だと思います。家族の一員だからこそ責任があるのだと思いますし、それをみんなで考えることが愛情なのだと思って描きました。